大正九年十二月十四日第三種郵便物認可

夕刊
新京日日新聞

發行所 新京日日新聞社

財政確立を ― 如實に物語る
元年度租稅實徵高 一千萬圓の豫算超過を示す

滿洲國大同元年度歲入實徵高は目下財政部に於て ― 調查 ― を急ぎ本月末までに完成の上公表される筈であるが稅收の中心をなす關稅收入に於て元年度豫算四千四十六萬圓に對し、五千二百萬圓以上の實徵高を示し、海關接收より元年度に至る豫算外關稅收入三百二十六萬二千圓を加算すれば約一千四百八十萬圓の豫算超過となり內國稅に於ては略豫算額と同額の稅收をあげ、鹽稅の增收百萬圓を加算すれば專賣事務開始の遲延により全部收益を見なかつた阿片益金五百萬圓を補塡して尙ほ一千萬圓以上の豫算超過となり、元年度歲出剩餘金一千萬圓及び二年度豫備金七百五十萬圓を合すれば實に二千八百萬圓の豫備財源を有する事となり ― 健實 ― なる滿洲國財政の確立を如實に物語つて居る

敦圖線の營業成績良好

〔大連廿五日發國通〕本月一杯を以て假營業を終り九月一日より本營業を開始することになつた敦圖線は十月一日を期して行はれる國線全線ダイヤグラムの改正まで現狀のまゝ九月末まで營業することゝなつたが同線の營業成績は逐日增大しつゝあり現在一日二列車運轉に對して四萬人粁の好績をあげて居る從つて本營業開始後は旅客貨物共料金の引き下げその他の關係より更に好轉すべく期待されて居る

火藥、爆藥類の專賣法 十月中に實現せん

滿洲國政府では國內治安確立の見地より火藥、ダイナマイト、爆藥並びに火工品の專賣制度を施行すべく專賣公署及び民政、軍政兩部で具体的立案を急ぎ遲くも十月迄には實現をみる筈であるが、滿洲國內に於ける火藥爆藥の製造は奉天造兵廠一箇所に限定、火藥類の輸出入も同廠にて取扱ひ、專賣公署に於て販賣統制を行ふことゝなつて居る、火藥專賣に包含される種類は左の如し

有煙火藥、無煙火藥、黑色火藥、ダイナマイト、雷酸鹽、起爆の用途に用ひらる窒化物、棉火藥、芳香系列硝化物、實包、空包、藥筒、藥包、彈藥筒、水雷、雷管、信管、爆管、門管、緩燃導火線

シムラ會議に 外棉輸入禁止案か
關稅增徵案提出の模樣

〔東京廿四日發國通〕在ボンベイ栗原領事の外務省への報告によると、我印棉不買は同地棉花市場へ大影響を及ぼし本年の棉花豐作と相俟つて相場は下押しで、農民間には收入減による生活不安の聲高まりこれが爲め開會中のシムラ會議に對策として外棉輸入に關稅增徵案か輸入禁止案かゞ出される模樣である

シ商業會議所會長 覺書を交付

〔東京廿四日發國通〕三宅シムラ總領事發電によれば印度商業會議所聯合會長シアーカ氏は廿日商業會議所會員に左の如き覺書を交付した

印度政府が日印條約廢棄に關し早急に過ぎ、事前に豫備商議し日本の立場を考慮し日印條約に代るべき方策提示の機會を日本に與へなかつたのは手落だつた、シムラ會商で注意すべきは印度關稅を改正する事は困難だから輸入割當制を採用す ろが良い例へば一定期間の日本綿布の輸入數量と印度棉業の發展を考慮し每年日本より特定數量の綿布を買ひ日本は過去十年の印棉買付數量の平均率を標準として一定數量を購入する如き或は印度に輸入する日本綿布に使用する綿糸は印棉を使用する如きも一方法だ

我綿業者代表 ステートメントを發表

〔大阪廿四日發國通〕シムラに向け出發に先立ち我綿業代表は廿四日左の如きステートメントを發表した

印度政府は我綿製品の輸入を阻止する目的で最近三ヶ年に四回の關稅引上げを行ひ、殊に條約の廢棄を通告したのみならず去る六月七日には七割五分と云ふ禁止的高率關稅の附加を敢てしたのである、右に對し印度政府が如何なる辯明を爲すもこれは兩國多年の親善關係を無視し、我國の對印輸出貿易を根底より破壞したるものであつて、我々として默過し能はざるところである、今や我々並びに同國當業者が相互共存の關係に鑑み速かに日印貿易の狀態恢復に向つて我々と胸襟を開き相共に協力せんことを切望するものである。本件の解決如何は只に我兩綿業の盛衰に關するのみならず我經濟的の全般、及び國運の消長に重大なる關係ありと信ずるを以て獻身の努力を致す覺悟である

シムラ會商代表出發

〔神戶廿四日發國通〕シムラ會商代表十七名は午後三時白山丸で京阪財界の名士多數に見送られ神戶を出帆した

移民法贊否 兩派の論戰激化し米政府を動す

〔東京廿四日發國通〕廿四日桑港總領事館より本省への報告に依れば最近加州內に排日移民法修正運動が擡頭する反面猛烈な反對運動が行はれて來た、即ち米國在鄕軍人團及びハースト系諸新聞は相呼應し修正贊成に反對し飽迄現行移民法支持を聲明、全國的に運動を起すことゝなつた、贊否兩派の論戰は政府を動し成行頗る注目さる

滿洲國の馬政に就て（五）

滿洲國軍政部顧問 騎兵大佐 濱田陽兒

馬の改良事業、細部調査の完了を待ち明年度より始めらる豫定であります、明年あたりからは地方の治安も益々恢復し漸次安んじて地方の平和事業を營むことが出來るやうになるでありませう、そして本年は各般の調查と競馬の着手に費さるゝ筈であります

×

滿洲に於ける競馬は關東州及滿鐵附屬地に於て日本競馬が行はれた外哈爾賓及營口に行はれて居りましたる外は餘り競馬らしい競馬は見ない樣であります、その內哈爾賓のは主に露國式繫駕競走であります、營口のは歐洲人が主体となり天津競馬と連絜を持つて居たものでありますが何れも事業不振に陷りあるのみならず馬政方針に即應する著實の下に行はれて居りませぬ尙この外にも所謂利權問題として競馬は一時相當賑かであつたやうで遂に競馬の革新統一を圖るのが一つの政治問題となつて稽緩を許さざる狀態でありましたので馬政方針の大綱定まると共に競馬法の研究を進め五月早々競馬法及國立競馬場官制を制定公布せられた次第であります

×

滿洲國の競馬を日本競馬に比し異る點に就て申しますならば馬の素質規模等到底同日の談でありませぬ、馬に於て三十年、競馬に於て十年が隔てて日本の跡を追ふ事になりませうが、是等は別とし技能上の差に就て申上ぐれば第一に競馬の國營を以て方針とする點であります。本年直に國營をせらるゝは奉天及哈爾賓の二ケ處でありまして新京、吉林、齊々哈爾、營口及錦州の五ケ處は公益法人の經營を許されますが何時でも政府は其施設を徵收して國營と爲し得るやう規定せられたのであります、抑も競馬の使命は何人も知る如く國の馬政方針に嚴密に一致したる方法に依りて產馬の能力檢定機關となり鍛錬場となり、又國民に正確なる馬事思想を普及する機關となるべきでありますので其目的達成に最も好都合なことは國營でなければならぬのであります、是れ滿洲國が國營方針を決定するに至りました主なる理由でありますが、併し乍ら此種の事業には多分の熱心と興味を要することでありますから此點に於ては國營は物足らぬ所あるを免れませんので此處に贊助員の制度を設けて其缺を補ふ譯であります義頃競馬問題の研究論議せらるゝに當りまして國營の可否論は相當に花を咲かせたことでありますが結局國營方針に落付きました蓋し競馬當事者は事業の繁榮に專念して動もすれば營業として競馬に偏色せんとし馬政方針に順應する點が輕んぜらるゝやうの傾向あるは免れ難きところで滿洲國既存のものも全く之でありまして、今後とも法人の基礎漸く固きに及ばんか其弊は益々大となるでありませう、特に競馬は其收益を以て馬政を援助すれば足り事業は營業を主として可なるかの樣な意見も聞ゆる樣でありますが、是等は競馬が直接馬產に與ふる偉大なる感化に眼を蔽ふた議論でありまして滿洲國の採らざりし所でありませう

×

第二には競走の條件を比較的重くする點であります、即ち競走馬は凡て主務官廳の体格檢查に合格せるものなる事を要し負擔並競走距離馬齡の傾斜、屈曲部の半徑等何れも一定の條件を要求せらるゝ次第であります、そうして是等は何れも競技的要求を課する譯で強健持久の性能秀づる馬にあらざれば勝を得せしめないと云ふ方向に指導せんとするのであります、之によりて滿洲產馬は其特色を長養する所以でありませう、又此の種の競走は營業としての價値は或は減ずるでありませうが、產馬方針には適應するもので現代競馬の傾向に鑑み未だ雨降らざるに牖戶を綢繆する用意に外なりませぬ

珠玉を碎く

吉井勇 （高根秀浩畫）

（九十八） 歲晚小景（二）

千枝子と妙子とは、資生堂の前まで來ると立ち止まつて、前からこゝに入る約束でもしてあつたのか、互に微笑を取かはした。

「混でやしないこと……」

妙子がさう言ふと、千枝子は外からちよつと中をのぞき込んで、

「かなり混でゐるけれども、まだ空いてゐるテーブルはあるやうよ」

「さう……。それぢやあ入りませうか」

「えゝ、あなた先きに入つて頂戴……」

「厭あよ、狡るいわ」

「だつて銀座へ行つたら、資生堂で何か食べませうつて言ひ出したのはあなたよ」

「いゝわ。それぢやああたし先に入るわ」

妙子はさういつて、取り澄ました顏付で、ずん〳〵中へ入つて行つた。千枝子も妙子の後から續いた。

「こちらが空いてゐます」

少年のボオイがさういつて二人を案內したのは、かなり奧の方の壁際の、衝立に差し挾まれたテーブルだつた。今客が立つたばかりのところだと見えてそこには菓子皿やコーヒー茶碗がまだ取り散らされてあつた。

「あなた何を食べるの……」

「さうね……。あたしアップルパイがいゝわ」

「さう……。それぢやあね……」

妙子は丁度皿や茶碗を取り片附けに來たボーイに向つて、

「アップルパイを二つとコーヒーを頂戴……」

ボーイがいつてしまふと、妙子は殆ど空いてゐる椅子がない程一杯の客を脫しさうな眼差で眺めてゐたが、不圖向ふの方のテーブルの醫生風の靑年と一緒に何か飮んでゐる、同じ位の年格好の令孃と顏を見合せると、笑ひながら輕く頭を下げた。千枝子はわざ〳〵振り返らなければ、そつちが見えない位置にゐたので、

「誰？」

といつて妙子に訊いた。

「えゝ、あの、何よ、カルメンよ。知つてゐるでせう、四年の時に學校を出された山根の孃……」

「あゝ、山根さんが來てゐるの」

「えゝ、何だか不良少年見たいなやつと一緒にゐるわ」

「まあ、男の人と一緒に……」

千枝子はさういひながら振返つて、ちよつと默頭くやうに挨拶をしてから、

「何だかいろんな噂を聽くわね、役者と何だとか、外國人と何だとか……」

「えゝ、あの人そりやあ不良なのよ。何しろお父さんからして不良なんだから……」

そんな話をしてゐるところへボーイが注文をしたものを運んで來たので、二人はすぐにフォークを取り上げてたべ始めた。コーヒーの薫りが微に二人の胸をときめかせた。

二人は何か考へてゐるやうに暫らく默つてゐたが、やがて妙子は少し上氣したやうに頰をぽおつと紅らめながら、

「あのね、千枝子さん。あたしあなたに少し話があるのよ」

「えゝ、どんな話……」

千枝子は唇からコーヒー茶碗を離して訊き返した。

「どんな話つて……ちよつとこゝぢやあ話せないわ」

「そんなに重大なこと……」

「いゝえ。さうぢやあないけれど……。まあ、いゝわ。後で歩きながら話すわ」

怖つてか宋子文 日本上陸を中止す
種々意見交換を欲しながら 常套手段を弄して

（東京二十四日發國通）外務省は二十四日午後二時左の如く公表した

豫て支那側に於ては、目下歸國の途にある宋子文を本邦に立寄らしめ本邦側と意見交換を行はしめたき意向であつたが、二十一日在本邦支那公使館は、本國政府の訓令による趣きをもつて宋子文乘船のプレジデント、ジエフアーソン號は二十五日橫濱に入港の筈なるところ、同地及び其他の本邦寄港に依る保護方につき帝國政府の配慮を得たき旨申出でありたるをもつて我方に於ては右保護方に必要の措置を執りたるも、二十四日支那公使館より宋子文は上陸せざる旨通報ありたり

宋上陸せずとも 外務當局は失望せず

（東京二十四日發國通）支那公使館は別項の如く二十四日正午に『至り』突如宋子文が上陸せざる旨外務省に通告し來つたが我外務省では當初より宋子文との會見に期待をかけず一切積極的に働きかけるを避け先方に於て會見の希望があるならば虛心坦懷に會見しやうとの冷靜な態度を持し來つたもので宋子文の上陸が中止となつたとて何等失望もしてゐない但し支那側に於ては當初宋子文と我が外務當局との會見を相當熱心に希望した模樣であるが複雜なる對內關係あり、國民政府が宋子文をして翻意せしめたものか、それとも宋自身上陸を欲しなかつたものか此間の消息は『不明』なるも兎も角支那政客特有の常套手段を弄したるに過ぎない結果となつた

稻垣監理官一行來京 拓務省から派遣

拓務省稻垣管理官ほか同省屬一名は二十七日ハルビン丸で大連着、同日午後七時五十分來京大和ホテルに入ることになつたが、一行は九月一日まで滯京して各方面につき調査することになつてゐる

手兵三萬を擁し 反滿抗日の擧に出づ
青海に在る王德林

（奉天廿四日發國通）舊吉林軍總司令王德林は滿洲國建國當時滿洲國に忠誠を誓すとを誓ひ、吉長鐵路護路總司令に就任したが、昨年七月反旗を掲げて逃走その後姿をくらましてゐたが最近西南政務委員會の周旋で東北義勇軍總司令に就任し、再び反滿抗日の旗幟を闡明するに至つた、目下兵力三萬を擁し青海に在り

反滿反日の不逞分子 奉天で捕はる

（奉天廿四日發國通）廿三日午後九時頃瀋陽警察廳第五區を警察員數名が密行中不審の一滿人を發見誰何するや同滿人は矢庭に拳銃を發砲逃走せんとしたので格鬪の上逮捕し取調べの結果右は奉天省蓋平縣生れ范補沈（二八）で、學良政權時代學良軍下の將校として活躍、事變後は北平に遁走反日反滿に狂奔して居たが本年五月北平抗日救國會より東北義勇軍遼寧省第三路司令に就任最近多額の軍費を所持し營口經由奉天に潛入したもので、在奉反滿反日分子と連絡し日滿要人暗殺を計畫暗躍を續けて居たもので目下同廳に於て嚴重取調中である

仙石宗秩寮總裁後任に 內大臣秘書官木戶幸一侯任命

（東京廿四日發國通）宮內省宗秩寮總裁仙石政敬子辭任に依り後任に木戶內大臣秘書官長が任命された

遞信省で 船舶安全法實施

（東京廿四日發國通）遞信省では船舶安全を期する爲十月一日から船舶安全法を實施、海岸報知ラヂオを設置せしめる事となつた

臺灣總督府 南支各領事召集 重要打合せ會

（臺北廿四日發國通）臺灣總督府では現下の南支那情勢と密接な關係あるに鑑み廈門、福州、廣東、香港各地領事を召集し九月二十一日より三日間南支那に於ける諸事業其他につき重要打合せをなす事となつた

太平洋會議に 平和機構改善提議を爲す 我が代表部活躍

（バンフ廿三日發國通）廿三日の太平洋會議圓卓會議に日本代表部は平和機構改善の提議をなしたが、右案の要旨は現存平和機構の中現狀變更に關する條項を實際に發動せしめると云ふにあつて右案に對し、英國代表ハーバート・サミエール氏は特に太平洋平和機構の再組織に關する日本代表部の提案を支持したが、支那代表は全然考慮の餘地なしとて頑強に反對した

報知新聞の滿鮮版

報知新聞社は今回新京支局を中心としてハルビン、チチハル、吉林、奉天、大連、安東、京城、間島、羅南等各地通信員を督勵しニュースを中心とする趣味と實益とをかねた通信を蒐め「滿鮮版」を新設、毎月三回發行全國讀者に無料で配付することゝなつた

政府、政、民の國策協定 圓滿に成立か
成行は樂觀視さる

（東京廿四日發國通）齋藤首相の鈴木、若槻兩黨總裁訪問は、國策協定具体化に關するものであるが齋藤首相は慎重な態度を持し二十八、九日の鈴木總裁との會見に於ても政友政策の內容如何では政府獨自の見解を以つて贊否意見を留保し、充分檢討の上、若槻鈴木兩總裁を一堂に招き鼎座し意見交換の上國策を決定の方針で政民總裁とも非常時局を認識して居り、國策協定は圓滿に進行するものと樂觀されてゐる

首相と會見後 若槻總裁語る 從來通り政府を援助

（東京廿四日發國通）若槻民政黨總裁は語る

民政黨に關する限り首相が話されたからとて從來の態度方針は變へる必要はない今日は難局だから皆一致してこの難局を突破することは極り切つてゐる、首相は眞面目に話されたのであらうが、我々も眞劍である「政府は大いにやる心算だ」と首相は言つて居られたが別に具体案は示されなかつた、首相はこれから先兩黨總裁と時々會見したいと言つてゐたが、招待があれば行くし、招待がなければ行かぬ、招待されて行つても何も政友會とは相談するのではない、首相を訪問するのは答に行くので何等相談する樣な事無く儀禮に過ぎない

齋藤首相語る

（東京廿四日發國通）齋藤首相は廿四日若槻民政黨總裁と會見後首相官邸で左の如く語つた

今日若槻總裁に改めて申す迄もない事だが時局の重大に鑑み從來より尚は一層の御援助を願ひ度いと話した處、若槻氏は之れ迄の考へと少しも變りはないから援助すると述べ、尚ほ午後黨の方に幹部會があるので御來訪の趣を報告致しますが其の結果に就いて別に御返事を申上げる必要も無いと思ふと云はれた

國策協定の具体的問題に就ては今後自分と兩黨總裁が一堂に會するやうなこともあらうが具体案は總て政府で作ることになるので具体案作製に就ては國策審議會のやうな特別の機關を設けずとも現在政府の持つて居る機關で充分調査立案することが出來るだらうと考へる

首相と鈴木總裁の 第二次會見 廿九日か卅日頃行はれん

（東京廿四日發國通）齋藤首相の兩日に亘る鈴木若槻兩總裁との會見により大体の意向は政友會案を參考に具体的國策協定案を作成これを政府案として兩黨總裁に語るといふに傾いて居るが、齋藤首相と鈴木總裁の次期會見は政友會側の協定案作成に相當手間取るため廿六日には困難と見られ廿九日若くは卅日頃になる見込である

國策審議會設置說 閣內に有力化

（東京廿五日發國通）國策協定に關する政府の基礎工作は齋藤首相の政民兩黨總裁訪問で大体一段落を告げたので『政府』としては來週早々行はれる首相と鈴木總裁の第二次會見で鈴木總裁よりの政友會五大國策要綱提示を待つばかりになつたが鈴木總裁が國策要綱を提示されるのはこれを政府に向つて全部の實行を要求するものでなく、又期限を切つて實行を迫るものでもなく單に參考として政友會は斯る國策に關する案を有するから政府の參考としてこれが遂行に努力されたしと希望する丈けに止まるであらうとの見解の下にあくまで今回の國策協定は精神的結合に重きを置き具体的事項には既に民政黨より參考として提出されて居る政策及び近く鈴木總裁より提出される國策を基礎として政府案を作成し之を兩黨總裁に示し諒解を求める事になる『模樣』であるが、國策審議の爲め特別機關として國策審議會を設置するの議は次第に閣內に有力化されて居る

國際通商戰の激化に備へて
外務省に通商審議會設置

（東京二十五日發國通）シムラ今次の會商に外務省でも英印側の作爲的な對日通商壓迫の態度に鑑みあまり多くを期待し得ずと見て居るが斯くの如きは政府が對抗的通商政策關税政策を用意しなかつた無防備に由來し今後一層激化すべき國際通商戰に備へる爲通商政策の根本的確立を企圖し外務省でも通商諸問機關たるべき通商審議會の設立を決定し官廳側及び民間側代表約四十名の委員の設定を終つたので來週中に外務省令を以て任命し、九月早々第一回會合を開催する筈であるが諮問事項は左の通りである

一、從來の大市場偏重主義を小市場主義に改めて新市場開拓を爲すこと

一、アメリカ、印度、支那等の舊大市場に對しては相互主義の立場から確保に努むること

一、通商條約の根本原則を從來の無條件最惠國待遇主義より互惠主義に改め片貿易相手國に對し求償的措置に應ずること

一、爲替ダンピングを名とし本邦品が不正當に壓迫を受ける弊害を除去する爲に全輸出品に輸出統制の根本方針を樹立すること

一、棉花、羊毛、石油等の主要原料品供給地に對し再吟味を爲し一市場偏重の結果今回印度が行つた如き關税引上げにより本邦品が不法に壓迫を被るを避ける爲新供給地研究に着手し以て貿易均衡政策を適用すること

菱刈全權大使の 國書捧呈式行はる
日滿の契りは再び新に展開

大命を拜し在滿同胞並に滿洲國民の輿望をになひ滿洲國に『駐在』せる特命全權大使菱刈大將の國書捧呈式は二十五日午前十時半執政府に於ていとも嚴肅に擧行された、この日菱刈全權は官邸にあつて早朝より執政使者大禮官の來着を待ち應接間に引見、挨拶を受けたる後執政府差廻しの自動車で使者同道隨員谷參事官、吉澤、米澤、林出、花輪、桝谷各書記官、鶴見書記官、秘書官、郡司通譯官及び大使館付武官岡村少將、辰巳少佐、藤森海軍大佐等を隨へ十時二十分官邸を出發沿道嚴戒裡に執政府に向つた、同廿五分執政府に到着した全權は鄭總理以下各部總長始め要人多數の出迎へを受け『一禮』をなしたる後、隨員と共に、大禮官の案內で謁上式場に入る、正面にはモーニングに威儀を正せる溥執政が謝外交部總長、張海鵬侍從武官長以下侍從を隨へ、內哲の面前に微笑をたゝへて之を迎へ全權と最初の對面をなす、全權先づ數步執政の前に步を運び握手の禮を交したる後言上書を高らかに朗讀、林出書記官飜譯文を朗讀しこれに對し執政答辭を述べ中島通譯官飜譯文を朗讀し、續いて全權は徐ろに國書を執政に捧呈し、執政之を恭々しく受けて謝外交總長に手交する、終つて全權は隨員を執政に紹介し一同執政の前に進み出で握手の禮を行ふ、隨員紹介後全權は林出書記官の通譯で執政と二言、三言親しげな會話を交し、再び大禮官の案內で『室別』に至り謝外交總長より執政府高官の紹介を受けたる後、全權及び執政を中心に一同シャンペンの杯を擧げ本日の意義ある國書捧呈を祝し日滿兩國の榮光を祈つた

斯くて全權一行を玄關に見送つた執政以下と共に庭前に下り立ち日滿兩國の歷史を飾る記念撮影を行ひ午前十一時十分執政府出發、同十五分官邸に歸還した

謝外交總長 大使館邸を訪ひ 答禮の辭を述ぶ

菱刈駐滿特命全權大使の訪問を受けた謝外交部總長は二十四日午後三時半大使官邸に參候答禮の辭を述べた

菱刈大使 捧呈式無事終了の祝盃を擧ぐ

信任狀捧呈式を了へ午前十一時十五分官邸に歸還せる菱刈全權大使は見送りの張實業部總長、修警察總監等を混へ官邸食堂に於て捧呈式の無事終了を祝しシャンパンの盃を擧げた

大使館に於て 菱刈全權初訓示

既報廿四日午前十時駐滿大使館に初登廳せる菱刈全權大使は大使館及び總領事館員並びに大使館附陸海軍武官、及び補佐官等に對し、次の如く訓示を爲した

本使義故武藤元帥の後を享け特命全權大使の大命を拜し今回着任に際し、館員各位に對し一言所懷を陳ぶる機會を得たるを欣快とす帝國は客年九月列國に率先して滿洲國を承認し、日滿議定書の調印により兩國永遠不可分の關係を定めたり爾來兩國の國交愈々敦厚を加へ東洋恒久平和に一步を進めたりと雖も世界の情勢を見る時は時局の愈々重大を加ふるの感なき能はず、現在の所謂三位一体の機構に於て各位が全權大使として本職を補翼せらるるに當りては宜しく叙上重大なる時局の認識に透徹し、日滿議定書の精神及び曩に帝國が聯盟脱退の際畏くも煥發せられたる詔書に昭かなる聖旨を體し管下各領事は勿論其の他日滿諸機關と和衷協力し其の間苟も齟齬杆格なからん事を期し以て兩國を眞に唇齒輔車の關係に導き進んで東洋永遠の平和確立の爲最善の努力を傾倒せられんことを切望す終りに臨み國家非常時の際切に各位の緊張發奮と自重自愛を望んで已みます

昭和八年八月廿四日

特命全權大使　菱刈隆

百五十萬元の 大航空會社新設
西南各省軍政長官共營で

（東京廿四日發國通）某所着電に依れば陳濟棠、李宗仁、陳銘樞等西南各省軍政長官等の經營の下に資本金百五十萬元で廣東、雲南、貴州の重要都市十數を連ねる一大航空會社を新設する事となつた

日本新聞會館

大正日々新聞社では今回大阪市東區北濱町四丁目二番地、三番地に社屋を建築設計中であるが此一部を日本新聞會館とし提供、新聞人を中心とする會合、新聞人と一般人との會合會談の倶樂部とすると

第二次會見で提出すべき 政友政策要綱作成
山本、前田、濱田諸氏協議

（東京廿四日發國通）鈴木總裁が齋藤首相との第二次會見で提示すべき政策要綱の作成を依囑された山本條太郎、前田米藏、濱田國松、島田俊雄、山崎達之輔、山口義一氏等は午前十時より三緣亭に會合、最後案作成につき種々協議し午後引續き續行した

その日く

□ 宋子文突如日本上陸を中止、面白くもない男だが、別に氣にもとめる程でもない

□ 國策協定に前途やゝ望みをかけるに足る、あくまで國家本位たれ

□ 菱刈全權けふ國書を捧呈、日滿の契りいよいよこれより深からんとす

□ 王德林またも抗日を覆して起つ、ダニのやうな奴じやが別に痒くもない

經濟欄

海外經濟

▲銀塊及爲替

品目	値
倫敦銀塊	[illegible]
同　遠限	[illegible]
紐育銀塊	[illegible]
孟買銀塊	本日休會
米英爲替	[illegible]
米日爲替	[illegible]
米支爲替	[illegible]
スチール株	[illegible]
アナコンダ株	[illegible]

▲棉花 ●米棉

限月	値
現物	[illegible]
十月限	[illegible]
十二月限	[illegible]
一月限	[illegible]
三月限	[illegible]
五月限	[illegible]
七月限	[illegible]

▲上海標金

項目	値
昨止	[illegible]
高値	[illegible]
安値	[illegible]
本寄	[illegible]
步値	[illegible]

▲上海日本向　第一回 [illegible]　第二回 [illegible]

▲上海倫敦向　賣値 [illegible]　買値 [illegible]

▲上海紐育向　賣値 [illegible]　買値 [illegible]

▲大連金鈔票

項目	値
現物	[illegible]
八月末日限	[illegible]
九月限	[illegible]
十二月限	[illegible]
寄付	[illegible]
步値	[illegible]

各地市場

▲大連上海向　引止 [illegible]　高値 [illegible]　安値 [illegible]　出來 [illegible]

▲大連靑島台向 [illegible]

▲阪神日米爲替　第一回 [illegible]　第二回 [illegible]

▲大阪株式　大株 [illegible]　新株 [illegible]　鐘紡 [illegible]　新 [illegible]

▲同短期　大新 [illegible]　東新 [illegible]　鐘新 [illegible]

▲大連株式　大新 [illegible]　東新 [illegible]　鐘新 [illegible]

▲大阪三品　五品 [illegible]　豆新 [illegible]　錢鈔 [illegible]

▲阪日英爲替　賣値 [illegible]　買値 [illegible]

▲大阪棉花　當限 [illegible]　九月限 [illegible]　十月限 [illegible]　十一月限 [illegible]　十二月限 [illegible]　一月限 [illegible]　先限 [illegible]

▲大阪期米　當限 [illegible]　先限 [illegible]

▲橫濱生糸　當限 [illegible]　中限 [illegible]　先限 [illegible]

▲仁川期米　現物 [illegible]　當限 [illegible]　先限 [illegible]

▲神戶豆粕　當限 [illegible]　中限 [illegible]　先限 [illegible]

▲大連特產 ●大豆　十一月限 [illegible]　十二月限 [illegible]

　袋込　八月限 [illegible]　九月限 [illegible]　十月限 [illegible]　十一月限 [illegible]　十二月限 [illegible]

▲哈爾賓特產 ●大豆　九月限 [illegible]　十月限 [illegible]　十一月限 [illegible]

新京市況

品目	値	出來
特產　大豆 現物	[illegible]	四車
高粱	[illegible]	三車
包米	[illegible]	一車
高粱 先物	[illegible]	
十一月限 寄	[illegible]	
同　引	[illegible]	
鈔票對金票	[illegible]	
現大洋對金票	[illegible]	
鈔票對金票	[illegible]	
大洋對鈔票	[illegible]	

本社主催、全新京排球選手權大會

各出場チームとも凄まじい練習振り

當日の盛觀思ひやらるる

大會あと二日に

全新京のスポーツファンから多大の期待を以て待望されてゐる本社主催全新京排球選手權大會もいよいよあと二日に迫つて出場各チームいづれも目下

『必勝』を期して凄まじい意氣込みで猛練習をつゞけてゐる殊に本年は第一回の催しであるだけにこの大會を最も意義あらしめたいといふので各出場選手とも素晴らしい緊張振りを見せ、中には新たに全選手揃つて特にユニホームも新調して晴れの大會に臨まうといふなど、當日の盛觀は今から想像に難くない當日は定刻午前九時全新京排球界の精鋭をすぐつた出場チームの選手百余名がユニホーム姿もりゝしく入場するさ

『莊嚴』な國旗掲揚式が行はれ主催者側を代表して本社々長の開會の挨拶があり終つて直ちに競技に入ることになつたが過去幾旬に亘る猛練習の結果は勝敗の數いづれにあるか全く豫測を許さぬものがあり必ずやファンの血を沸かすに充分であらうと見られてゐるなほ大會の番組抽籤については二十五日午後二時から地方事務所内で各チーム主將會議を開き、當日の準備についても萬遺憾なき手筈を整へることになつた

夫の純愛を

裏切る淫蕩な妻女

惡魔のとりこは容易に覺めそうもない

前夫の純愛を裏切つて醜い歡樂に陶醉して居た淫蕩な年增女があつた…樺太大泊旭町三條通三丁目大石圓之亟、假名の内縁の妻堀スガ(三三)は昨年十一月廿五日滿洲景氣の

『聲に』送られて濡れ手に粟を夢見つつ單身來京し市内吉野町三丁目飲食店花月事鈴田松之助(假名)方に女中として雇はれ働いて居る内本年一月十日頃より店主鈴田と人目を盜んでは道ならぬ不義を重ねて居た、然し漏れ易いは男女の關係で四月頃遂に妻女及び店の者に感知され致し方なくスガは四月二十四日同店を止め市内各旅館、下宿屋等を轉々とし其間も依然として鈴田とは不義を重ねて居た、一方樺太に居る夫大石は急に杜絕した妻よりの便りに不審を抱き心配のあまり本月十七日わざわざ樺太より來京したが妻の行方が皆目知れぬ爲新京署保安係に出頭所在搜索を願出たので同署では八方捜索中の處廿三日市内三笠町四丁目本田園成方に止宿中を發見本署へ連行、人間味豐かな井上保安主任より溫き

『前夫』の懐ろに歸るべく論されたが惡魔のとりこゝなつたスガには何等の反應もなく夫との離別を主張し保官を手こ摺して居るが放任すれば自殺のおそれ濃厚の爲同署で保護を加へてゐる

「日蓮救國と同じ救國の叫びだ」

平松辯護士の辯論

(東京廿四日發國通)五、一五事件陸軍側公判は廿四日午前八時第一師團司令部法廷で

『開廷』されたが、十年前所も同じ法廷で甘粕事件辯護に名辯護振りを謳はれた平松辯護士が代聞辯護士の殿りとして辯論に入り、一萬五千の減刑嘆願書を積上げて、國体論より說き起し、被告等をして此の擧に起たせたのは政黨財閥の亡國的行爲であると極論しかの日蓮が鎌倉に救國の叫びを擧げたと同樣被告等は救國の叫びを市ケ谷臺に擧げたのであると謂ひ、國難防衛權問題に關し忠君愛國の行動は凡て國難防衛權行使となるが故此の國難防衛權を抹殺せんか國家道德より忠君愛國を抹殺すると同樣であると極論、刑の量定には此の點を考慮されたいと希望して長時間に亘る辯論を終了し、午後三時卅三分閉廷した、次回は廿六日午前八時より開かれるが

『同日』は大熊、細井、中村三少佐の特別辯論がある筈

新醫博に中國人

(東京發)學位授與認可は二十三日文部省より發表されたがその中に中華民國人一名あり注目されてゐる

醫學博士(皮膚放線菌症知見補遺) 中華民國 黃丙丁

赤、白露人大喧嘩

寬城子北鐵クラブ前で

昨二十四日午後九時頃新京より寬城子北鐵クラブに遊覽に赴いた白系露人十數名はクラブ前廣場に於て赤系從業員約四十名と口論の結果双方入り亂れて大喧嘩を始めたが直ちに同地駐在の某大國邊境警察の巡警のため阻止され、主謀者白系、赤系各一名引致嚴重說諭の末同夜放免された、近時赤系、白系の反目著しくこの種の出來事が屢々として惹起されるので關係當局では嚴重警戒中である

横濱沖の大觀艦式

御親閱の下に

壯觀無比に擧行さる

(橫須賀廿五日發國通)大演習參加艦艇百六十一隻は大元帥陛下御親閱の

『光榮』に浴する大觀艦式に出動し海軍機百八十機も加はつて二十五日其豪華版を橫濱沖に繰り擴げた、此日海港橫濱の空は晴れ偉艦飾の軍艦は海を壓し未曾有の壯觀を呈し只管御召艦の拔錨を待つ、斯て陛下には午前八時五十分橫濱驛御著伏見軍令部長宮殿下の御先導で棧橋より御召艇に召され各艦よりの皇禮砲の轟く中に御召艦比叡に御乘艦遊ばされた、やがて九時四十分皇禮砲轟く中を御召艦は式場に向はせられた、仰げば陛下には前檣橋に立御遊ばされ、御召艦が第二列と第三列の間を徐々に進み御親閱に入れば各艦は登舷禮式を行ひ、司令官は

『玉座』の側に侍して參列艦長司令以上の指揮官の官氏名を奏上、陛下には一々之にうなづかせ給ひ、畏くも御會釋遊ばされた、これより先九時四十五分第一航空艦隊司令官及川少將の空中艦隊の百八十機は編隊を作つて遙か東方海上に機影を現はし爆音高く式場の上空に至るや御召艦の右舷を飛下、更に正面に出で約三百メートルの高度に低下、銀翼の影を艦上に落して分列の式を行つた、斯くして十一時輝く御親閱を終へさせられ優渥なる勅語を賜はり、御召艦陪乘の大演習關係高等官に午餐を賜び茲に記念すべき觀艦式を終へさせられ

『陛下』には午後三時十分文武官奉送裡に橫濱御發車同三時四十五分逗子御著遊ばされ天機麗はしく御用邸に還幸あらせらる

京城大學

劍道部來征

京城帝大劍道部は暑中休暇を利用滿洲各地劍道修業をなすことゝなつたが來る一日新京に來り翌二日全新京軍及び滿洲國軍と對戰する豫定であるが一行のメンバーは左の如くである

京城帝國大學々友會劍道部
部長 時枝誠記
師範 鍊士 中野宗助
監督(醫)三段 荒木久太郎
學生(醫)三段 竹重一正
同(醫)三段 鍋田正巳
同(醫)二段 渡邊正義
同(醫)二段 穗所邦廣
同(醫)二段 新谷周九郎
同(醫)二段 鈴城正英
同(醫)二段 高山魁
同(醫)二段 渡邊久男
同(醫)二段 牛島幸七
同(文)二段 山住左武郎
同(醫)二段 林三郎
同(法)二段 木崎九十郎
同(文)二段 江田忠
同(法)二段 我孫子正誼
同(醫)二段 江幡昂
同(文)初段 小幡信一郎
同(文)初段 三宅範忠
學生監 大塚忠衛

ロシア娘を

置き去る内地人

興なき國際愛の破局

(安東發)美しいロシヤ娘を連れて滿洲より內地に歸らうとして見せ金の問題で新義州に下車を命ぜられて投宿中ロシヤ娘を置き去りに姿を晦した男がある……二十日夜南行列車に收まつて國境に差し掛つた三十前後の內地人男と二十位のロシヤ娘があつたが外人入國法に依る見せ金千五百圓がないため新義州驛に降されて大和館に投宿中、廿一日男はロシヤ娘を殘して何れへか姿を晦まして仕舞つたのでロシヤ娘は仕方なく二十二日午後ヒカリで轉向親許に歸つた、宿帳には東京市神田區西本町會社員金森吾洋臟(三〇)同妻エレナ(二十二)と記されてゐた、男はチタイ行商に滿洲を旅行する內ハルビン方面でエレナと國際愛が釀成され一しよになつたものらしいがさりとは興なしの解消振りかな

慰安廉賣列車

敦圖、吉海線へ

三十六日間に亘る長途の旅

鐵路總局の骨折り

さきに奉山、瀋海の二沿線を巡回し好評を博した奉天鐵路總局主催の慰安廉賣列車は同列車未踏の敦圖、吉海の兩線を、九月十日より三十六日間に亘り

『運輸』することゝなつた、同列車には新京、吉林兩輸入組合の加入店が乘り込み、主として滿洲人向の日用品、雜貨、陶磁器、菓子、吳服類、藥等を滿載、娛樂としては活動寫眞、芝居、ラヂオ、又施療班をも加へ九月十日奉天を出發、滿鐵線經由圖們に行き同地で廉賣、慰安を行ひ、更に吉林に引返し、商品の補充等を行つて吉海線に入ることゝなつてゐる、途中大きな驛には一日小驛には二、三時間の割で慰安、

『廉賣』を行ふことゝなつてゐるが一般より非常に期待を以て迎へられてゐる

滿鐵全線に

十月より列車增加

(大連廿五日發國通)滿鐵本線の旅客輸送は滿洲國建國以來增加の一途を辿りつつあるにが最近旅客の輻輳其の極に達したので滿鐵では今秋十月一日のダイヤ改正を機にこれを緩和する爲大連、新京間一ケ列車、新京、奉天間一ケ列車、其の他二、三の區間列車を增加運轉するに決定、同時に大連、チチハル間直通列車一ケ列車を增加して二ケ列車となし北滿旅行者の便を圖ることゝなつた

ゲ、ペ、ウの極東首領

滿洲里で拘留

(奉天廿五日發國通)ザバイカル鐵道代表クリツ氏はハルビンに向ふ途中滿洲里で無査證の廉で國境警察に拘留されたが、因にクリツ氏はモスクワ政府直屬のゲ、ペ、ウの極東に於る首領株の人物である

安東、城子疃間連絡バス

車輛の到着を待ち運轉開始

(大連廿五日發國通)安東、城子疃間バス運轉計畫は自動車道路も完成したので近く車輛の到着を待ち實施することゝなつた コースは城子疃、莊河、大孤山、大東溝を經て安東に到る海岸線約二百二十キロ、八時間を以て兩地を連絡せんとす

北鐵交渉と

ソ聯大使館側の意見

(東京廿四日發國通)北鐵交渉は昨日六時間に亘る激論の後、換算問題で暗礁に乘上げたが、右に對するソ聯大使館の意見は大体左の如くである ソ聯側は會議以來既に數度も大讓歩を示した、若し滿洲國側が交渉成立の誠意あらばもつと讓歩態度を示して欲しい

帝都から遙々

三麗人化粧實演

タンゴドーラン化粧品宣傳

美容と營養とスピードの三特長を兼ねてゐる近代化粧料タンゴドーランの本舖では今度その化粧法實演を愛用者に會得せしむるため三麗人を新京に特派し左記日時と場所に於て美と魅力の近代化粧を公開することゝなつたが、新京では初めての試みであり、時恰も秋風の訪れとゝもに婦人方は皮膚の荒れに惱む季節に入るに先立つてのこの催しは大に歡迎を受けることであらう

化粧實演所
二十七日 日本橋通 現代號
同 同 金泰洋行
同 同 平本洋行
二十八日 同 新京百貨店
同 吉野町 カモヤ商店
同 同 丸善屋
二十九日 東一條通 梅田商會
同 日本橋通 日の出

因に時刻は午前十時から午後一時まで午後四時から同九時まで都合で多少の變更はあるかも知れぬと

寄附四件

▲吉長吉敦鐵路局前林孝三郎氏は轉勤に際し金一封
▲小澤正人氏は滿洲國へ就職記念として金一封
▲佐藤清、今正兩氏は在校記念に金一封宛何れも室町小學校父兄會へ寄附した
▲末松正實氏は娘さんの忌明に際し金三十圓を家政女學校へ寄附した

るもので關東州と朝鮮を最短距離に短縮するものとして期待されてゐる

立命惜敗

對滿洲國野球

8—6

待望の滿洲國對立命館大學野球戰は廿四日午後三時半より西公園に於て滿洲國先攻(球審杉田、壘審川上)で開始されたが結局六對三で滿洲國の勝利となつた

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
滿洲	0	2	3	0	0	0	0	1	0	6
立命	0	0	0	0	0	1	0	1	1	3

△バッテリー
滿洲國 柳原、森川
立命館 雪本、濱帯、村川

ラジオ欄

二十六日(土)新京
奉天後四、〇〇 レコード
相場 商業通信社
新京後四、三〇 演藝
同 後五、〇〇 講演
滿洲國ノ治安 首都警察總監 修長餘
同 後五、三〇 ニュース
滿洲語
東京後六、〇〇 ニュース
東京中央放送局編輯
新京後六、二〇、語學講座
(滿洲語) 講師 高宮盛遇
六、四〇 (日本語) 講師 植松金枝
同 後七、〇〇 ニュース
英語
同 後七、一〇 ニュース
露西亞語
同 後七、二〇 ニュース
朝鮮語
同 後七、三〇 ニュース
氣象豫報、放送局編輯及プログラム豫告
東京後八、〇〇 演藝
同 後八、三〇 時報
同 後八、三一 ニュース
東京中央放送局編輯

人事往來

▲廣瀨中將(第〇〇師團長)廿五日午前八時四十分ハルビンへ
▲岸本軍醫正(關東軍々醫部)廿五日午前九時大連へ
▲加藤中佐(關東軍參謀)廿四日午後七時五十分來京
▲十河滿鐵理事故鈴木關東軍顧問の告別式に參列のため廿五日午後七時五十分來京

團体

▲駒澤大學柔道部十一名二十五日午前八時四十分ハルビンへ
▲台灣產業視察團十三名同上
▲滿電社員團十五名二十五日午後四時三十分大連へ
▲大阪福助足袋團二十三名二十五日午後三時二十五分來京
▲朝鮮平安北道議員團十二名二十五日同上
▲朝鮮水原驛主催團二十五日午後三時二十五分來京同四時三十分奉天へ

けふの銀相場

鈔票對金票 一〇七、六〇
現大洋對金票 一〇一、八〇
國幣對金票 一〇一、七〇
大洋對鈔票 九四、六〇

慶安異聞 艶魔地獄

（舞臺上演 映畫化）

玉水三郎
（繪）長谷川小信

（十八）

奴奉公人（五）

お菊の美貌と、其動作のしとやかさに、五人の來賓は恍惚として、密かに囁き合つた。

「普通の腰元ではないな、何しろ絶世の美人だ」

「少くとも千石以上の武士の娘といふ資格は備はつてゐる」

「素性を知りたいな」

「事に依つたら、當家の主人女嫌ひと稱しながら、寵愛して居るのではなからうか、愛妾として」

「青山主膳なか／＼油斷はならんぞ。一つ發いてやらうかな」

水野十郎左衛門、近藤登之助、加賀爪甚十郎、松平紋三郎、坂部三十郎の五人は、お菊が銚子を持つて立つたを機として、

「青山氏、今日は存外の馳走に相成つたの」

「諸事行屆いたる待遇し、吾々一統辱なく存ずる」

「殊に例の取持に、中々の美人、吾等一入快よく酩酊致したが、青山氏あの召使へは何れの者であるかな」

「酒の肴に承はりたい」

近藤、加賀爪、松平、坂部の四人が問ふをキツカケに、水野十郎左衛門、例の卒直に、

「貴公は内室を迎へず、婦人は汚らはしいと申して、獨身で暮らす由承はつて居るが、扨ては秘密にあのやうな美人を愛して居るのだな」

主膳は一向平氣で、

「イヤ／＼、拙者は相變らず無妻だ、決して妾などは置かん」

「でも、あの婦人は普通召仕への腰元とは違ふぞ。起居振舞總外れと申し、一通りの女でない」

「水野氏、マア可いではないか。奴奉公人に少々美しいのがあつたとて、左様に御一同で詮議せんでも……」

「さうでない。吾々が妾の一人や二人蓄へたりとも、誰も怪しむ者はないが、貴公は常に女嫌ひを自慢にしてゐるから、吾々は承知せんのだ。さア白狀に及べ」

十郎左衛門は持前の驍勇で、頭から怒鳴りつけた。

主膳も遂に屈して、

「實は彼の女の將來を思つて、秘密は洩らすまいと存じ居つたのだが、左様に疑ふならば申聞かさう」

「勿體つけるな」

「過ぐる寛永十一年、上様增上寺お成りの折から、鐵砲を以て狙撃したる曲者、高坂甚内の召捕れたを存じ居らうな」

「オヽ、主膳、貴公が町奉行中の大功名、あの諸侯三家の金藏破りを見ン事探り出して召捕つたのだ」

「……それが何とした」

「あの甚内に二人の娘があつて、姉は菊と申し今此處へ參つた女。妹は八重と申して、今吉原三浦屋に奴遊女とされてゐる」

「フーム成程」

「奴奉公人として、辛い一生奉公をさせるのを不愍と存じて、斯くいふ主膳、引取つて下女代り針妙として召仕ひ居るのだ。拙者は勿論女嫌ひ、あの菊が美人であるか醜婦であるか知らんが、唯謀叛人の娘としても、彼の女に罪はないゆゑ、情を以て公用人の手に引取らせて參つたのだ」

「フーム左様であつたか。流石は青山主膳、能く引取つた」

「不愍な者だ。隨分共に目を懸け遣はせ」

平生が平生だから、主膳の疑ひは晴れて、却てお菊の爲に褒められた。

其の日の宴會は總つて一同は青山邸を辭去した。

主膳は皆からお菊が絶世の美人と褒められ、自分が愛してゐるやうに疑はれた爲めに、此晴から不思議に心が動き初めた。

八月廿六日 舊七月六日 土曜 甲子 赤口 定 氐宿

●一白の人　意志堅固に行ひ正しき時は萬事通達の吉日　乙さ辰さ丙が吉

●二黒の人　祖業大切さ守るべき日他事を行ひ敗を招く　癸さ丑さ寅が吉

●三碧の人　極端の整理は却て風波を起す程合ひが肝要　乙さ丙さ庚が吉

●四緑の人　次第に頭角を現はすべきも急ぐは挫折あり　乙さ庚さ亥が吉

●五黄の人　午前は〻の如くならざるも午後は順調なり　丁さ壬さ子が吉

●六白の人　力を恩はず突進して災害を招くべし守靜吉　癸さ丑さ寅が吉

●七赤の人　力餘りて自ら倒るゝ如し英氣を内に藏せよ　丙さ丁さ癸が吉

●八白の人　案外の不遇を見るべき日病難盗難怪我注意　甲さ癸さ丑が吉

●九紫の人　不安の念を去り精力を籠めて活動すれば吉　庚さ壬さ癸が吉

新京日日新聞

定價 一箇月 金八十錢 一部 金三錢
新京永樂町四丁目一番地
發行所 新京日日新聞社
電話 三〇〇番・三一一番・三二二番
發行人 河本 編輯人 十松 印刷人 谷

產業青年學徒が素晴しい意氣込み

愛國公債一千萬圓募集で殘留組急遽上京

過般來京、全滿各地を實地踏査し滿洲の認識を深め、將來の飛躍に備へた一方大アジア青年聯盟の結成を行ひ、兩國青年間の緊密の度を加へ青年外交の使命を果した滿洲產業學徒研究團の視察の結論として滿蒙の富源はなほ地下にあり、これを得んが爲には資本を必要とする、今や滿蒙の開發、その緒につかんとする時同研究團青年は愛滿の結晶として滿洲國への愛滿公債一千萬圓を募集する事に決議し、之に對し各方面より多大の贊意を得たので之が實行に關し、案を練り、一兩日中に新京殘留組は成案を携へ、急遽上京、募債に活動することゝなつた

まづ新京に落着いて實際を見た上

昨夜鳩でいよく着任した遠藤總務廳長語る

【大連二十五日發國通】新任滿洲國總務廳長遠藤柳作氏は秘書關口保氏を帶同二十五日午前八時大連入港のうらる丸で來連したが船中出迎への記者に語る

滿洲は大正八年朝鮮に居た頃山縣總監のお供で特務部の鈴木顧問と一緒に來たきりだい菱刈司令官とは大將がまだ

『青森』師團長時代自分は同縣知事として在任舊知の間柄で今回も東京でお目にかゝつて來た、小磯參謀長、岡村副長、原田、塚田兩大佐等皆知つてゐるが、滿洲國側には知人は一人もなく全然白紙だ、仕事の方の話は駒井前廳長にも會へず、僅に坂谷君から大体の輪廓を聞いただけで申上げる樣な方針も樹つてゐない、治外法權撤廢問題も東京で座談的に話があつただけではつきりした事を云ふ時期でない

『滿洲』民政府に日本人官吏が多すぎると云ふ事も東京で聞いた、然し先づ新京に行つて實際見てゐないと之をどうするかと云ふ事も言へない、何事もこれから勉強しようと思つてゐると

同氏は、二十六日朝九時發「ハト」で新京に向つた

卸物價指數

僅かに低落

【東京廿五日發國通】三菱經濟研究所調査に依れば八月廿一日現在の卸物價指數は八月十日に比し極めて輕微な低落を示した、國內商品は微騰せるに貿易商品の地位は一般に低下した、此の間對米爲替は更に軟化して居る關係上右物價下落は米國に於る重要國際商品價格の低下に依るものと考へられる、國內商品の騰貴は米、大麥、炭等の反騰に依るものである

滿鐵新社宅十月末に完成

豫定に間に合はぬ

舊競馬場あとに目下新築工事中の滿鐵新代用社宅四百戸については住宅拂底の折柄、可及的速かに竣工さすべく目下大急ぎで工事に着手し、その結果最近七分通りの棟上を終つたが、何しろ近頃の降雨つゞきの其他に支障を來したうへに上下水道設備も捗らぬため豫定の九月一杯には今のところ到底間に合はぬ模樣であり、今後內部の手入れに相當の時日を要するであらう事ゆゑ、早くも十月中旬或は同月中がゝりそうである、なほ同社宅竣成によつて新京の住宅難も幾分緩和されるものと一般人からも多大の期待を以て眺められてゐるが、事實は轉入又は新入社員の豫想外の增加によつて大して役立たぬことゝなつた

日滿及び朝鮮間の電報料金統一

關係機關で改正協議

【東京廿五日發國通】日滿經濟ブロックの第一歩の表現として滿洲電信電話會社は來る卅一日新京に於て創立總會の運びに至つたが、遞信省では此の機會を活用して日本關東州及び滿洲國の電報料金の統一を圖ることになつたが、朝鮮、滿洲間の改正も必要な爲目下兩當局間で協議中で此の料金改定は經濟統制上注目されてゐる

內務行政上多年の懸案を解決

現內閣の安定を待つて內相早くも乘氣

【東京廿五日發國通】首相と兩黨總裁の會見により政府と兩政黨間に精神的結合が成立すれば政府は茲に最高政策に兩政黨の支持を得て來議會も無事に乘切ることが出來るとして內務省では內相の發案で此の好機を利用し內務行政上の多年の懸案を解決すべく從來の例を破り暑休明け早々來る決すべく從來の例を破り暑休明け早々議會を目標に萬般の準備を進めることゝ決定した

政局不安解消

民政幹部の觀測

【東京廿五日發國通】民政黨幹部の意見を綜合するに左の如し

首相と兩黨總裁が非常時局に就き意見一致したのは政局安定の爲に結構なことだ

政友會はもつと早く此態度に出ればよかつた、齋藤首相は若槻總裁との會見によつて國策協定の正体が明白になつて來た、政府政友間に何等か協定がついた後民政黨に臨むのでなく政友が主張してゐる中から探らべきものと認めたものを政府政策として實行するのだから紛糾を來す惧れはない、政友會は對內閣上種々宣傳するだらうが政局不安も一先づ解消されるだらう

偶語

宋子文の日本上陸中止

歐米からの歸途日本に立寄らうと喧傳された宋子文が何故か上陸を中止したとのことだ對內關係からか或は宋個人としての考によるか、そんなことは何うでもよいとして彼の日本訪問は何故あゝまで喧傳されたのか、いふまでもなく彼は南京政府の財政部長としてある意味において南京政府を背負つて起つ男である

○

しかも彼の今回の外遊は經濟會議に支那代表として出席後歐米の日支感情視察その他重要用件を帶び、殊に最近の對支借款問題についての運動が特に一般の關心を呼んだものである

○

更に折りも折り最近南京政府の對日方針更新說が傳へられるに及んで彼の日本訪問は少からず吾々のジャーナリスト的興味をそゝつたものであらう、わが外務省はもとく最初から彼の訪日に大した期待もかけず、先方から會見の希望でもあるなら會つてやつてもよいといふ程度のものであつたやうだから今となつて彼の上陸中止なんぞてんで問題ではないわけだ

○

問題は支那側がいろく意見交換を欲し、幸ひ歸國の途にある彼をしてその衝に當らしむべき希望が遂に今日に至つたのは國民政府自身に取つて大なる失望でなければならない（南の子）

支那代表

太平洋會議で爲替安定力說

【バンフ廿四日發國通】太平洋會議廿四日の經濟問題討議に於て米國の全國產業復興計劃が、更に具体的進展を示すまで各國は暫く靜觀するであらうと云ふに各國代表の意見が一致した、席上支那代表は爲替安定の必要を說き左の如く述べた

現在の情勢に於て關稅問題の如きは爲替安定問題を中心とする一層大きな問題の單なる一要素に過ぎない關稅協定の締結並に財貨の自由交換を基礎とする廣汎な國際貿易政策を實現するには先づ各國の通貨問題を解決せねばならぬ

財務、警務兩局長

後任問題紛糾せん

【東京廿五日發國通】臺灣殖產局長から關東廳財務局長に轉任した殖田俊吉氏はいよく辭職を決意し廿五日朝辭表を菱刈長官宛郵送した、又關東廳警務局長友部泉藏氏も健康上其他の事情に依り辭表を提出することになつてゐるので、右兩氏の後任問題が閣議に上程される時は再び問題が紛糾するのではないかと觀られる

菱刈軍司令官

日系官吏に訓示

菱刈軍司令官は故武藤元帥の例にならひ廿八日午後一時新京高女講堂に在京の滿洲國日系官吏全部を集め就任の挨拶及び訓辭を行ふことになつた

菱刈全權

けふ新任挨拶に執政を訪問

菱刈滿東軍司令官は小磯參謀長以下幕僚を隨へ廿六日午前執政府に溥執政を訪問、司令官としての挨拶を述べ正午頃まで林出書記官を通譯として種々會談を爲す筈である

興安省行政區劃全く確定

全省行政機構整ふ

興安省行政區畫は廣汎なる境域、住民の雜多、之れに伴ふ風俗習慣の相違により非常な難事業とされてゐたが、この程漸く全部の區畫を確定し茲に全省行政機構の整備を見るに至つた、省內各旗縣市所在地及び旗縣市長名を分省名、旗名、所在地、旗長姓名の順に列記すれば左の如くである

興安東分省
喜札順爾旗　索倫　布彥和什克圖
布特哈旗　札蘭屯　額爾登
阿榮旗　黃花嶺子　爾恒巴圖
莫力達瓦旗　布西　鄂爾德蒙格
巴彥旗　和禮屯　卓仁札布

興安南分省
科爾沁左翼前旗　西札哈齊　納青額
科爾沁左翼後旗　塔不格勒
額爾德畢勒格
同中旗　巴彥塔拉　陽倉札布
同右翼前旗　烏蘭哈達
拉哈穆札布
同後旗　代欽塔拉　巴彥和木爾
同中旗　察爾森　根不勒札木蘇
札賚特旗　巴彥哈喇
闊們綽爾呼

興安西分省
札魯特左翼旗　魯北　未定
同右翼旗　桃兒山　未定
阿魯科爾沁旗　崑都　未定
巴林左翼旗　林東　未定
同右翼旗　大坂上　未定
克什克騰旗　經棚　未定
開魯縣　開魯　未定
林西縣　林西　未定

興安北分省
索倫旗　南屯　未定
新巴爾虎左翼旗　阿穆古朗
額爾欽巴圖
同右翼旗　阿爾坦敖喇
巴優巴迪
陳巴爾虎旗　烏珠爾和碩
彭楚克
額爾克納左翼旗　奈勒穆圖　未定
額爾克納右翼旗　吉勒穆圖　未定
海拉爾　市　海拉爾　未定

なほ索倫旗、額爾克納左翼、同右翼各旗長には恩明ピ貴勝等の諸氏が有力視されてゐる

政友會の五大要項

更に二項追加

【東京廿五日發國通】齋藤首相と鈴木總裁との第二次會見で鈴木總裁から提示される國策協定要項は目下政友首腦部に於て立案研究中であるが、首腦部は黨の三大指導精神と重大政綱を出來る丈け完全に抽出せんとして居るから既定の協定國策五大要綱たる

一、外交問題
二、國防問題
三、日滿經濟問題
四、行政機構の根本的改革
五、產業政策

の外更に人心の不安を一掃すべき具体的對策の樹立と財政經濟對策の二項を加へ大体六七項となる模樣である

印度農民は果して大困り

日本の印棉不買で

【東京廿五日發國通】在孟買某總領事より外務省への報告に依れば日本の印棉不買は同地棉花市場に大なる影響を與へ、本年度棉作の良好なると相俟つて相場は下押しとなり農民の間に收入減に基く生活不安の叫びが漸く高まつて來たので、目下開會中のシムラ議會に之れが對策として外棉の輸入に對し關稅增徵又は輸入禁止の法案を提出するに到るだらう

臺灣製茶の蒙古方面進出

前途は頗る有望視

【四平街發】在奉天三井物產茶業部では本年七月以來同地を中心として臺灣茶の大々的販路擴張を目論見宣傳員を四洮線一帶に派して滿蒙人の嗜好の狀況調査中の處、愈々數日前四平街繁華街雜貨商義和厚をして委託販賣せしむることゝなつたが

今後四洮線方面は鄭家屯、通遼、泰來、龍江の各地に特約店を設置大活動を爲す模樣で價格の安くして香味良好なる點等に於て今後相當有望視されて居る、尙は四平街に於ける小賣相場をあげると

特等一斤大洋二元二角蘭茶
上等一斤大洋一元六角毛峯
中等一斤大洋一元三角毛峯
下等一斤　大洋九角毛峯
最下等一斤大洋四角八紅茶

傷病兵士

鐵嶺分院へ

二十六日午後零時四十分發の列車で新京衛戍病院在院中の傷病兵十五名が鐵嶺衛戍分院へ轉療のため出發する

鄭總理田代司令官を訪ふ

執政の答禮

鄭總理は二十五日午前十一時關東憲兵隊司令部に田代司令官を訪問、過日同司令官が執政に新任の挨拶を爲したるに對し、改めて答禮の言葉を述べる處あつた

滿鐵圖書館長會議

【大連廿五日發國通】滿鐵の圖書館長會議は昨日午前九時より社員俱樂部樓上で沿線各館長二十名出席の下に開催、中西地方部長の訓辭に次いで地方課作製の議題に就き順次會議を進めたが、滿鐵本線在住者の讀書修養に關する件に就いては巡廻文庫を實施する外方法なしと決定し、日滿聯合圖書館協會設立に就いては滿洲國側の意向判明せざる爲滿鐵側のみで右に關する研究會を組織して審議の上滿洲國側と折衝し日滿圖書館協會の設立を圖ることゝなつた

滿洲國經濟建設の全貌を見る（上）

一糸みだれぬ統制下に

◇……その躍動振り

滿洲國經濟建設事業は企畫階程を完了し、茲に全滿主要產業は鞏固なる日滿經濟ブロックの統制下に置かれ、愈々各種事業は第一階程たる實行期に入り唯一路實現に向つて邁進を續けて居る、即ち既に設立せられ、或は又設立準備を進めつゝある主要統制事業を列擧すれば

滿洲炭礦會社

滿洲國內に於ける石炭礦業統制開發を主眼として滿鐵經營の撫順、煙臺並に本溪湖を除く主要炭坑を統一する日滿合辦會社で資本金一千六百萬圓滿洲國及び滿鐵が半額宛出資で北票、鶴立崗、穆稜、西安等の國有炭坑を提供、滿鐵側からは東蒙古の新印炭坑（評價五百萬圓）と三百萬圓の現金出資をなし、現在の產出炭額は年百六十萬程度で、產出炭は滿鐵商事部の手で委託販賣しするもので、近く石炭販賣統制を圖らんとするもので、近く關係官廳の認可を得て創立される運びとなつて居る

滿洲採金會社

黑龍江省、興安省、吉林省の國有砂金礦を中心とする主要砂金礦を經營せんとするもので資本金は一千二百萬圓、滿洲國、滿鐵、東拓の出資となつて居る、而して國有金礦の採掘權は民間に讓渡せざる規定であるが、特にこれを新會社に附與、會社は更に信用ある一般民間業者に採掘せしめ得る新例を開く事になつて居る

滿洲石油會社

滿洲石油會社は設立認可申請書既に關東廳を經て拓務省に提出され、遲くも來月迄には成立を見るものと豫想されてゐる、而して右會社は資本金五百萬圓、滿洲國、滿鐵、日本石油業者が全株を割持ち一般より公募せず、精製工場は甘井子に設置され、原油、重油の購入及び精製並に販賣等の業務を爲す事になつて居る

滿洲アルコール會社

ハビンを中心とするアルコール製造事業の振興、統制を圖るため生產過剩に惱む北滿系及び滿洲國側のアルコール會社を合併、日滿合辦資本金百五十萬圓の滿洲アルコール會社を新設、來月中には出現を見る筈で百萬ベドルの生產能力を有してゐる

日滿マグネシウム會社

大石橋附近に無限に分布して居るマグネサイト礦より滿鐵理研の獨特操作を併用、金屬マグネシウム（飛行機材料として緊急の要あり）を製造するもので七月二十五日拓務省に申請書が提出された

一、資本金、七百萬圓（四分一拂込）
一、出資者、滿鐵二分の一、理研四分の一、殘り四分の一日本諸資本家及び一般公募
一、所在地、山口縣宇部市
一、滿稅關係及び消費地關係により工場を日本內地に設置、當分滿洲よりはマグネサイト原礦のみ輸出

アルミニウム新會社

滿洲國及關東州に沿ふて特に金州、復州に無盡藏に產出する礬土頁岩を原料とし撫順の過剩電力を利用して先づ撫順に今秋試驗工場（建設費三十五萬圓）を設置、來春より大々的に試驗に着手、企業採算の決定如何によつて三千萬圓程度のアルミニューム新會社を創立、將來は過設資本金五百萬圓で富山縣下に急設された日滿アルミニューム會社と生產工程を協定して合併の筈で、軍需工業中重大な地位を占るアルミニューム工業の確立、アルミ自給自足が實現されることゝなつた

滿洲電氣會社

滿洲に於る電氣事業の統日滿合辦の新會社を設立すべく準備を進めて居る

銅山號自力で虎林へ

【ハルビン廿五日發國通】ウスリー河支流タマン河下流附近で發見された銅山號は機關破損せるため修理排水に五時間を費し廿四日午後四時半試運轉を行ひ結果良好なるため曳航を止め自力航行に移り虎林に向け急航した

三和銀行頭取

中根氏に內定

【東京廿五日發國通】三和銀行初代頭取は土方總裁の推薦に依り前日銀大阪支店長理事長中根貞彥氏と交涉してゐたが、內諾を得たので十二月九日の創立總會で決定の筈で、日銀大阪支店調查役下山元一氏が中根氏の希望で取締役支配人に內定した

滿洲國軍 少佐の軍服で トラック五臺詐取
この價格がざつと二萬余圓 犯人早くも高飛び

滿洲國軍自動車隊長と詐稱して二萬五百餘圓の詐欺を働いた惡運轉手がある

熱河北票宿泊所で喘いで居たルンペン運轉手吉田勇(二八)=假名は去る三月下旬我軍の熱河討匪開始と共に軍司令部內職業補導部の『紹介』で熱河に從軍して居たが四月下旬討匪の一段落と共に胸に一もつ彼は滿洲國軍少佐の軍服を着用して堂々と凱旋し同自動車隊長の名刺を以つて市內八島滿軍事品商會に赴き巧みなる言葉をもつて店主の信用を得、時機を窺つた彼はトラック五台至急入用に付熱河北票渡しとしての見積の提出を求め眞しやかに北票にて五台のトラックを受取り、價格二萬五百余圓は後日滿洲國の方より『支拂』ふとの意味を語り同商會に安心させ自分は豫て計劃の如く赤峰承德北票と該自動車を以つて運搬業を始め約一萬圓余の純益を懷ろに七月頃再來京、日本橋通西村旅館に止宿、大風呂敷をひろげて大盡を氣取り美貌の女中、野口ハナ(二一)=假名を言葉巧に籠絡して內緣の妻となし內地へ歸るとて二人連立つて同館を出發し、途中奉天に立寄り某旅館特等室に止宿相變らずの大『風呂』敷で大言壯語して居たが何れへか風の如く姿を消して終つた、まんまと一杯喰つた商會の店主は犯人の行方を血眼で搜索してゐる

本社主催 排球選手權大會の組合せ決定
保安區と機關が皮切で 主將會議打合せ

來る二十七日午前九時から西廣場小學校庭で開催される本社主催、新京体育聯盟後援の全新京排球選手權大會の組合せにつき二十五日午後二時から地方事務所內で各チーム主將會議を開き抽籤の結果第一次試合を左の通り決定した

保安區—機關區
學校B組—檢査區

不戰一勝組
鐵道事務所、學校B組、滿電新京支店、滿洲中央銀行、新京驛、地方事務所

なほ第一次戰を終れば引續き第二次、第三次と回を重ね當日優勝を決するはずである

店頭装飾競技
規程その他も決定 九月十日三より開く

新京第三回ショーウインド競技會打合せ會は二十五日午後一時から滿電新京支店樓上で開催、大垣商工會議所書記長久末輸入組合理事、伊藤滿鐵地方事務所勸業係、滿電支店幹部、輸入組合加盟店主多數列席、豫てプリントされた二回競技會當時の記錄を議題として沛江滿電營業係長座長となり大体左の如く議決、午後三時原口滿電支店長の挨拶があつて散會した

一、期日 九月十三日より十七日迄五日間
二、主催者 滿洲電氣協會
三、後援者 新京日報社、新京日日新聞社、新京輸入組合、新京商工會議所
四、審査員 電氣協會二名、滿電本社一名、當地五名(但し人名は追て發表す)
三、審査 九月十六日に終了十七日午後一時發表(但し滿電支店ショーウインドに掲示す)
六、展覽時間 毎日午前七時より午後九時三十分迄とす(但し十七日に限り當選發表其の他の爲特に午後十一時迄延長すること)
七、參加ウインドの表示 競技參加のショーウインドには參加店なることを表示する印刷物を窓に貼布し之を表示す
八、參加料金 市中競技參加加盟店より入會費として金二圓を受納し賞品代の一部に割當つ
九、商業學生の參加 新京商業學校の生徒をして實習の爲ショーウインド二箇以上を有する商店より任意に一箇の貸與を受け之を學生に提供し競技會に參加せしむる豫定(學校に對する交涉は久末輸組理事に一任)
一〇、發表 新京日々新聞及新京日報の兩紙を以て發表し尙宣傳ビラを滿洲電氣協會名を以て新聞折込其の他の方法にて頒布す
一一、審査規程 審査規程は審査員決定の上成る可く早く參加店に發表すること、ショーウインドの陳列品及裝飾其の他意匠等は途中に於て絕体に變更するを得ざるものにして之れに反したるものは審査より除外さるるに付特に注意せられたし(但し呉服店の陳列商品は會期中一回に限り商品の配置を變更せらる範圍に於て取換ゆることを得其の場合は主催者の許可を要するものとす)
一二、審査等級 一等一店、二等二店、三等三店、選外佳作若干
一三、賞狀及賞品 賞狀は電氣協會より發行す、賞品は滿電新京支店より相當の金額を支出せられたるも其の大部分を顧客の豫想投票に廻し顧客を優遇し競技會をして意義あらしむることに商店側出席者より發議あり之に決したる爲參加店の商品は特に御祝儀的のものとなしたるは特に之を諒せられたし
一等金十五圓、二等金八圓
三等金四圓宛
一四、景品陳列所 滿電新京支店
一五、豫想投票の 一般顧客より豫想投票を募集し一般の人氣を集注すること

(以下次號)

新京驛前の安全鋪道築造
愈よ近く着手する

十七萬餘の人口を抱擁する大新京の表玄關新京驛の昇降客並に見送客は日一日と其數を增し『列車』發着每に物凄い雜沓を呈し、自動車、馬車、人力車等四巴の交叉點では危險此上もなく交通巡捕の聲をからした整理も雜音に打消され何等の効果もなく、これが安全整理策については新京署保安係鐵道事務所の數度の協議の結果、驛を中心として兩側に安全鋪道を造る事に一決し近く着工十月末竣工の筈である、又諸車類は總て大連式に左廻りとして通行の統一をはかる事となつた、この安全鋪道は驛よりツーリストビユーロー前方を通つて驛『派出』所前迄と一方地方事務所前迄で高さ約五寸幅は小八米四十、最大九米でこの鋪道の右側に馬車が一列に停車し又驛横のポスト前方よりは長さ十九米、幅三米の突橋を造り其右側が自動車左側が人力車の停車場とする豫定である

世界的難工事
丹那トンネル貫通 本年中には試運轉を行ふ

(東京廿五日發國通)十二年の苦心と努力も酬いられて世界的難工事と言はれた丹那トンネルは嚢に水拔坑が貫通し其後本導坑も廿五日午前十一時四十分無事貫通し、來る十月盛大な貫通祝賀會を開き本年一杯には列車の試運轉式が擧行される筈である

南米ブラジルから 軍艦卅隻注文
當業者直ちに協議 なんと斯かる大口は初めて

(東京廿五日發國通)ブラジルから軍艦大小三十隻約二億圓の注文を十ケ年繼續事業として申込んで來た、我が民間造船所では斯かる大口の注文を受けたのは始めてで目下協議中だが、ブラジルは財政難でもあり又各造船所は軍需工業で繁忙の際とて條件が六ケ敷ければ引受けぬ模様である

不正商人の官塩密賣橫行
滿洲國嚴重取締る

吉林、黑龍江兩省に於ける鹽の運輸及販賣は勿論吉黑權運署の官營專賣に屬し他の如何なる機關も之が運輸販賣を禁止されてゐるにも拘らず、事變以來一部不正商人が兩省の各地に於て不正行爲を犯すもの最近益々增加し來り權運署官鹽販路の蒙る影響實に甚しきものあり、よつて權運署では之が對策として署員を關係各驛貨物事務所に配置して之が監視及檢査をなし若不正行爲に對し斷乎摘發處分をなす事となり、此の程權運署より滿鐵々道部に對し附屬地內に於ける滿洲國官吏の右職務執行に關し許可と諒解を求めて來た

天理教總會
出席者に滿鐵線の割引

奉天に於て九月十日十一日の兩日開催される天理敎滿洲傳道廳主催の天理敎靑年會本部滿洲出張所總會主席者に對し滿鐵では旅客及荷物運輸規定第五十一條に基き運賃の割引をすることとなつた

一、割引區間 社線各驛より奉天驛まで往復
二、割引期間 九月九日より十一日まで
三、通用期間 乘車券發賣の日より九月十二日まで

旅費に窮して
若者の願ひ

新京驛前長春旅館止宿兒島夏雄(三二)は二十五日新京署保安係を訪れ十圓の旅費の貸與方を涙ながらに申出た、右は本月十九日原籍地長崎縣南高來郡北有馬村を出發、哈爾賓の久保田商店を頼つて行く途中で所持してゐた僅かばかりの旅費も使ひ果し行くも歸へるも出來ず思ひあまつた末遂に當局の厄介となつたものである

長春座問題 近く解決せん
觀覽料も自然値下げ

紛爭に紛爭を重ね一般市民の注目をひいて居た長春座改革問題に付いて新京署保安係では二十五日午前十時より宇野、堀川、豐田諸氏の『出頭』を求め鳩首協議した結果、會社側の直營問題は時勢の流れであり將又市民一般の觀覽者が貧乏くじである爲に今回の直營問題は當然勃發すべき事で宇野氏の『提唱』する直營問題に就ては株主側では非常に强固なる意志を保持してゐるが二十五日の協議では結局會社の直營とするか、堀川氏が長春座を買收するか又は第三者の買收にまかせるかの三項でこの內の一を選定する事となつたので近く何れかの解決を見る模様である、これの解決の曉は現在の高價な觀覽料も自然低下し大衆的料金で一般市民は觀覽出來るわけである

長春座關係者出頭

新京署保安係では二十五日午前十時より長春座關係者の出頭を求め現在紛糾を重ねてゐる諸問題解決の協議をなした

腐れ氣の馮玉祥
人氣なし

濟南に到着した馮玉祥は十五日出發せず衛隊のみ泰安に向はせ自らは韓復渠の歡迎會後、腐れ氣分で濟南市街を見物し且つ同地の兵艦を見學したが記者團に對して自身の功績地恢復を以て多倫の失なりと、吹聽之れ努めつゝあるも人氣なく厄介視せられて居ると

金子雪齋翁九年祭
新京で執行

滿洲國文敎部監督官岩間德也、新京特別市長金壁東、執政府內務官小平總治、執政府翻譯官中島比多吉、新京日報社長箱田琢磨、總務廳囑託平山武靖の諸氏の發起で來る二十八日午後三時から故泰東日報社長金子雪齋翁の九年祭を新京神社で執行されることとなつた

聲である爲如何にしてもこれを放棄する事は絕体に不可能で堀川氏の不況時代云々もいうのみにして事實に於ては左程の損失も蒙つて居らず現在の如く多數の中間利益者の手を經る經營狀態では結局株主

寄港の宋子文
記者團との面會を謝絕して 終日船室に引籠る

(橫濱廿六日發國通)國際經濟會議に支那代表として出席し、更に歐米各國の對日支感情を視察其他の重大要務を果して歸國の途に在る宋子文氏は『財政』顧問ヤング博士、秘書等の總勢八名と共に二十五日午前六時ジエフアーソン號で江華本駐日代理公使、郭泰氏橫濱總領事等關係者多數の出迎へを受け寄港した、宋子文氏に會見を申込んだ記者團に對しては『宋子文氏はインタービユーだけは許して下さい、ニユーヨーク、シヤトル等の各地でも記者團とはお會ひしなかつたのですから、重光次官と會見する樣な話は船中でも全然ありませんでした入港中『上陸』する樣な豫定は今の所ありません』とあつさり會見を拒み一切を否認したが、卵色の背廣に茶の縞いネクタイをした宋子文氏は漸く甲板に現はれ寫眞班の撮影だけを許した

反日滿宣傳
犯人は鮮人か

(安東發)去る廿一日安東驛構內の公衆便所內に共產主義及び反日滿宣傳を標榜する諺文並に支那文の不穩なる落書がされてあるのを驛取締りの憲兵が發見、安東署並に驛長に通知した後、之を抹消したがこの落書の犯人は不良鮮人らしく目下官憲當局に於て手配中である

學生陸上競技

(東京廿五日發國通)日本學生陸上競技選手權大會は愈々二十六、七兩日神宮競技場で擧行されるが、參加者は朝鮮北海道を始め全國各地の中等學校百七十八校五百六十八名師範學校三十六校二百八十五名に及び今から其盛況振が豫想されてゐる

滿鐵商工事務打合せ

(大連廿五日發國通)滿鐵では毎年沿線各地方事務所の勸業主任會議を開いて商工事務擔當の打合せをなして居たが滿洲の新事態に直面して調查事項等煩雜を極め直接商工事務擔當者の會合打合せの必要に迫られたので、二十五日午前九時より地方部會議室に第一回商工事務擔當員打合せ會を開いた、出席者は各地方事務所並に吉林、ハルビン、撫順等各商工事務關係者十九名で中西地方部長の訓辭につぎ打合せを行つたが今後毎年一回打合せ會を開催する筈である

四平街 不正業者
近く悉く轉業

四平街署では管內(昌圖線八面城、大窪、枯楡樹鎭、を含む)在住內鮮人中禁制品密賣容疑者に對しては曩きに可及的速かに正業に復する樣慫慂され何れも轉業を希望し居り只資金の問題にて急速に實現不可能の者もあるが轉業資金貸付の恩典にも浴されることとて遠からず晴天白日下に堂々轉業の喜びをみることとなるであらうと、而して官邊では此際寬大なる取扱を無視し轉業の誠意なきものに對して嚴重なる制裁に訴ふるとの事である

振興貯蓄會

四平街滿市街に住む鮮人の多くは禁制品密賣容疑者であるが阿片專賣法の實施と共に四平街署では嚴重正業に復すを懇諭示中の處其後相互に正業に轉ずる樣諸種の準備を整へつゝある中に、去る十七日同所朴德仁方に於て振興貯蓄會を設け毎日十錢宛を拂込み之れを利用して轉業資金の一部に加へ一日も早く不正業者より脫出生活改善を圖らんとしつゝある

鐵道保護に
縣長ら乘出す

新任梨樹縣長は着任以來管下治安の維持に盡力し各方面共其の努力を認めて居るが二十一日午前十時第二區四平街第三區郭家店の分局長自衛團長を召集郭家店、四平街間の縣內滿鐵線路の保護方法に關して協議の結果各區から三十名宛の自衛團兵を選出して二ケ小隊を編成して晝夜共線路を中心に兩側千米內外の地域を遊擊警戒に當らしめることとなつた

山中局長着任

新任四平街郵便局長山中數雄氏は二十四日市內重なる向を歷訪就任挨拶する處ありたり

告別挨拶

四平街警察分署長として榮轉する谷口警部補は二十四日市內重なる向を訪ね告別挨拶する處あつたが司法刑事として敏腕を知られて居た秋山恒太郎氏も同分署附を命ぜられたので同日各所を歷訪挨拶した

訂正

二十四日付夕刊朝鮮人酌婦誘行記事の「すみ子」とあるは「竹子」の間違に付此處に訂正す

天氣と氣溫

けふの天氣南西の風晴一時曇 昨日の氣溫最高二十五度一最底十七度七

演習殉難者遺族
果して救はれるか

陸軍中將　小泉六一

帝國軍隊當局が平時、非常時を問はず、國家の爲めに猛演習を計畫實施し、而も多少の人的犧牲を出す場合あるは蓋し君國奉仕の堅忍持久、奮鬪の結果であつて、吾人は腦の感謝を軍隊に捧げるものである

近くは去月二日、岳麓に於ける第一旅團諸兵連合演習であるが、我第一聯隊の八兵が炎天下、艱難困苦の任務を遂行して終に尊き犧牲となつた如き正に好例であつて、遺家族に對しては戰時同樣の哀悼の意を表する次第である

由來演習中渴病即ち日射病に罹る所以のものは決して兵士その者身体贏弱、氣力弛緩に發端するに非ずして寧ろ身心強く最後の一瞬迄健鬪し而も眞んに斃れて後止むの精力横溢の結果であつて其の意氣や實に美談とせねばならぬ

自分の經驗からして謂はしむれば、彈丸雨飛、戰友踵いて斃る實戰場裡に、笑つて突進するは比較的容易であるが、平時の演習の性質上狀況は急速に進み、休息の暇さへ無い程の任務に遭遇して、其の困難痛苦たるや蓋し体驗者にして始めて之を語る事が出來るのである

即ち前者の死は敵彈のため容易に且つ瞬間に死地に就くことが出來るが、後者の死は自ら最後迄努力して逝くのであつて彼れの戰場心理の支配下に在る場合とは是れの後方に止ることを得ざる自然の死とを比較すれば、戰場の死に優る苦吠の果てと謂はざるを得ない

然るに是等平戰兩時の殉職者を待つ現在の國家的恩典は必ずしも冠一でなくして戰死者に對しては國家として相當の事をなし、例へば一時賜金、遺族扶助料等の庇護救援の制度が設けられてゐるけれども、平時殉職者の恩典制度とは大いに異比の感がある、而も是を以て又止むを得ない現狀とする時は等しく從民皆兵の大旆下に是等必任義務者を國家に送つた國民は、思ひを茲に致して、國家恩典の行い難き所を補ひ、戰死者のそれに及ばざるも、少くも其れに庇護する精謝を以て、是等崇重忠烈の殉職者に酬ひなければならぬと思ふ

即ちこれが一般國民の義務でなくして何であらう、而して此の種犧牲者は必ずしも皆富裕の者ではない、却つて大半は困窮の家に成育し、除隊後は一家の財的柱石の者が多いであらう、從つて遺靈參列には出向することが出來ないと云ふ幾多の既往の實例があるのである、而し戰死者の如き一時賜金はなく數金の埋葬料の外、月額僅に二十圓の扶助下賜に依つて向後を生活してゆかねばならぬ現狀である、殊に平時殉職者中、幹部候補生の如きは制度上前記の扶助料さへ受け得ざる事となつてゐるが豈悲慘、豈恨事と云はざるを得ない、自分は殊に軍人後援の國家的事業に當り此の種殉職者及び遺族に對しては直時の弔慰を施行して來てゐるものであるが、尙將來に對する慰恤相談方法は熟慮してゐるのである

笑つて死地に就く戰場の勇士は勿論、演習時の犧牲者たり得る立派な精神力を保持してゐるが、他方斯る精神力も亦、困苦缺乏に堪へ得る平素の演習に因つて涵養されるのである、故に將來平時の殉職犧牲者あることを覺悟せねばならぬから一般國民も亦深く省慮した君國のため、國民自身のため、平時と雖も獻身奉仕の誠忠を全ふしてゐる軍隊兵士等の身上に深く思ひを寄せ軍人後援のため更に一段の猛省を加へて國民的義務の遂行に關心ありたいものである

科學戰に貢獻する
衛生車の偉力
戰場給養のスピード化

事變發生以來國民熱誠の結晶である陸軍獻納各種兵器は此の程に至り夫々軍屬、或は配備等、兎に角一段落を見たが、兵器中の變り種として戰場給養のスピード化に偉大な貢獻を有つ衛生車は確に皇軍の一異彩である

以下衛生車の性能及び特徵は現下非常時智識の一助にもなろう

此の衛生車は、陸軍々醫學校衛生學教室で考案されたもので、戰場に在る軍隊の給養を迅速且つ豐富にし、同時に衛生の目的を達して戰鬪力を發揮しやうといふのであるが、之れは前車と前車と二輛で一繼となつてゐて、價格は四萬圓內外のものである

□

性態は一時間に六百人分の飯と汁とを作る事が出來る、又濾水器によつて如何なる濁水でも一時間に千九百リツトルの割合で立派な清水とすることが出來、夏なれば冷たい水冬なれば溫かい湯を自由に供給し、又洗濯もすることも出來る

□

戰場に於て一番不自由なのは入浴であるが、此の衛生車に備へつけられたズツク製折疊式の風呂桶二個が(一個に約四石の湯が入る)十分間に五十度の溫度に沸いた湯で充たされ第一線で奮鬪のつはもの達を慰勞し、一時間に三百人まで入浴することが出來る

□

此の衛生車の數ある特徵中で最も驚くべきは最大時速五十キロを以て走つてゐるうちに御飯も炊けば湯も沸くことである、これまでは停止間でないと炊事に取りかゝることが出來ないので、戰鬪が終つてのちつはもの達が空腹をかゝえて飯盒炊さんをする苦しみは此の衛生車の出現によつて救はれるわけで、戰鬪後衛生車が到着しさへすれば直ちに食事が出來るのである

□

又此の車は傳染病發生の際は一時間に一千人分の被服を蒸氣消毒をすることが出來る仕かけになつてゐる

斯樣に便利至極な衛生車であるから、陸軍當局ではなるべく之を數多く作つて、戰場に送りたいと希望を有してゐると

わが國に於ける
最初の從軍記者
面白いその由來話

陸軍々醫監　落合泰藏

今から六十年前、明治七年臺灣の生蕃討伐當時、御用商人大倉組の一行中に、その頃新聞記者として名高い岸田吟香が加はつてゐた

初め岸田は、歐洲各國では戰時には必ず新聞記者が從軍することになつてゐた、よつて今回の戰に從軍記者として採用されたい、まことに千載一遇の好機であるから是非從軍を許可されたいと願ひ出たしかし總督府では之を許下しなかつた、熱心な岸田は尙いろ〳〵と事情を述べて運動したが、總督府では戰爭はその謀密なるを尙ぶ新聞記者を從軍せしむるが如きは以ての外であると頑張つて、どうしても之れを許可しなかつた、今次の滿洲事變等で一新聞社から多いのは百人もの從軍記者を出してゐるが、今から考へると隔世の感がある

岸田は總督府の頑冥さを非難攻擊したが、遂に如何共することが出來ないので、窮余の策として大倉に賴みこんでその配下に入つて從軍の目的を遂げた、大倉組では月當二十五圓を給して連れて行つたのであるが、いよ〳〵台灣に到着してからは、都督府の方でも考へ直したと見え、岸田に通譯掛を命じ月給七十五圓の外に手當として金五十圓を給與する樣になつたと聞いてゐる

海の外から

□地球と飛行機の比較速度　米國、マウント・ウイルソン觀測所のアルフレツド、ジヨイ博士は此の程、星座を廻る地球の速度を發表し、飛行機の速度と比較して後者は蝸牛の歩みに等しいと附言した、即ち地球は一分間に九千哩の速度で天上銀河の中心を疾走し、太陽の廻りを一分間に千百哩で回轉してゐると

□書籍式の人体模型　英國保健衛生協會では、書籍の如く、一枚一枚めくる事に依つて、體內組織を知る事が出來る人體模型を制作し、近く各學校へ使用せしむることとしたと

□密蜂の視力　米國博物陳列館長、フランクルツフ博士は豫て密蜂の視力を調査研究中であつたが、密蜂が人間の眼で見えない紫外線を見る事が出來る旨新發見をした

□英軍の訓練用木馬　既報、英國ウイードンにある陸軍騎兵學校では馬術教練に木馬を使用に當ててゐるが、訓練成績頗る良好なので近く全英陸軍に採用することに決した

□素晴しい異國話し　米國政府では豫て「最も卑近なる發明品」の創案者、一年間の收入を調査中であつたが此の程左記發表を見た(以下創案者が受ける年收)

□セーラー、スケートから百萬弗
□鉛筆のゴムキヤツプから十萬弗
□普通型の洋傘から一[illegible]
□乳母車(婦人創案)から五萬弗
□カールアイロンから四萬弗

等々であるとは、素晴しい異國談

□鳩が火災の仲媒　一義に紐育ブセードウエイロ漏電の爲出火したことがあるが爾來原因不明の所、最近の調査に依れば電線の交叉點に鳩が巧に巣を造り安居してゐたので、或る日不圖したことから鳩が感電家に電線に故障を生じ漏電した結果と判明

鮮魚小賣相場

品名	値	品名	値
活鯛	一〇	小鯛	五五
鮪切	八〇	ニベ	二〇
ブリ	二六	ヒラス	五〇
サハラ	三〇	スヽキ	二三
サバ	一七	アジ	一六
カレイ	一六	ヒラメ	二三
ボラ	一三	コノシロ	二五
タチ	一〇	ウナギ	一、〇
ムツ	一七	サヨリ	二三
グチ	一三	フカ切	一二
タコ	五二	イセエビ	五五
車エビ	八五	コエビ	二一
カニ	六	ハモ	三四
アナゴ	二一	シラオ	二六
アワビ	九六	シジミ	八
カマボコ	二七	舌	二〇
カレ	一七	小市	一七
アユ	一、〇		

連載漫畫

ヲキノ、タイショウヲ三人ガイケドツタトキイテ、タイシヤウノヨロコビハ タイシタモノ『アツパレ〳〵』

コノタビノ テガラニヨリ 三人トモ 一ボウノタイチヤウニシユツセシタ

ゲラ『ミドモモ タイチヤウニナツタカラ イママデノヤウニ ワラツテモオレヌ コノムシヤブリヲ ユラ人ニ ミセタイ』

キヨウドウ一チノ チカラハ ユラカツタ クユヘカヘツテ ミナニシラセテヤロウ モノドモツヾケ、(オハリ)

變幻黒船往來

錦轉戰上映及上演

（作）寺島柾史　（畫）布施長春

第百三十四回　人間爭奪（二）

舷側の傳馬船には、黒い人影が二つ三つ動いてゐた。それが敵か味方かお愛には判斷ができなかつた。が、いまの場合、そんこなとを吟味してゐられない。船室を脱けた以上、黒船に戻ると典膳のため、どんな目に遭はされるかしれない。いや、そればかりでなく、船中は猛火をはらんでゐるのだ。黒船に居殘つては、藤太のいふとほり、遲かれ早かれ黒こげになつてしまふだらう……。

お愛は、度胸を据えて傳馬船に乘移つた。

傳馬船の人々は無言のまゝそれを迎へた。

と、このとき俄に黒船の甲板が騒々しくなつた。一團の水兵がバラ〳〵と甲板へ立現れたのだ。

船ていの猛火を鎭めた水兵たちは曲者のあとを追ふて甲板へのぼつてきたものらしい。

もはや、一刻の猶豫もならぬ。

藤太は、傳馬船へ乘移るといきなり繩ばし子をぶつり切つた。

傳馬船は靜かに巨船を離れた。すると、水兵たちはいち早くそれを發見して、急に騒ぎ立つた。

わあッ！といふ喚聲である。續いて銃聲が、やみ雲をついてとゞろいた。

が、幸ひ傳馬船が、その射撃の的になるには、あまりに海上は暗かつた。

『はやく、遣げい。フランス水兵たちが追ふて參るぞ！』

お愛と背中合せに胴の間に坐つてゐた男が突然沈默を破つて叫んだ。

その聲が、どうやら聞き覺えがあるやうなので、おや……とおもつてお愛は掻かへつた。闇をすかしてみると、これは意外、他の人々とちがつて、フランス水兵のだんぶくろを着た怪しい人物。

『おや！』

こんどは、彼女は聲を立てた。その驚きの樣子をすかさずとらへた怪しい男は

『驚いたか、お愛！』

『えつ！』

『ハヽヽ、驚くことはない。フランス水兵が端艇をおろしておふてくるころは、もう、われ〳〵は陸へ上つてゐるさ』

『あなたは？』

『おうさ、見らるゝとほり、憎まれ者の笑浦格之進だ。藤太奴とふたりで、おぬしをやつと救ひ出したのさ。ハヽヽ』

黒船の人々の叫喚を、格之進はあきらかに笑殺した。

×　×

それから幾刻か經つた。

高島の海は、晩夏の陽をいつぱいに浴びて、輝かしくひろ〴〵としてゐた。風もいくらか出て波立ち、碧空を白雲が飛んでゐた。あきらかに、もう秋だ。

その、晩夏の海をまつしぐらに東風泊の方からこなたを指してやつてくる一艘の破舟がある。漕ぎ手はれいのニゴリナイの濱千鳥フナメ、胴の間には尻切絆天の白軒武七郎、ならびに山の老人カチウド……、總勢四人の無謀な討伐隊だ。